

こんにちは

酒井まさえ



2024年4月28日 No.169 連絡先 日本共産党杉並区議団控室 3312-2111
090-9325-5676 sakaimasae.0507@gmail.com

静かな街を壊さないで

補助133号線周辺まちづくりの取組

対話集会(ワークショップ)

フレスト(フレスト)開催

岸本聡子区長が就任して、今年の7月で2年となります。

補助133号線の周辺まちづくりにおいては、昨年11月から対話集会が4回行われ、今年度は「(仮称)デザイン会議」に引き継がれることとなります。

対話集会は、無作為抽出と一般公募で参加者を募り、①整備済みの中杉通り沿道地域②優先整備路線区間沿道・成田東3・4丁目地域③計画区間沿道・五日市街道から世田谷の区界地域、それぞれ16〜17名で行いました。

また、計画地となり校庭が削られる東田中の中学生12名も行われました。



補助133号線の計画地



参加した区民は、4つのグループに分かれ、それぞれ活発に対話をしました。各グループに区の職員が入り、区長もグループを回りを聞きました。

優先整備路線区間沿道の住民は「70年前と今では社会や地域の状況が全く変わっている。住環境の破壊、交通事故の危険がある」、他の地域の住民は「133号線の道路のことは、知らなかった。話し合いに参加できてよかった」などの意見がありました。

「(仮称)デザイン

会議」に期待

「(仮称)デザイン会議」は、補助132号線、補助221号線と補助133号線の周辺地域で議論をしていきます。最初は、6月に3地域合同で行う予定です。区は、「補助133号線周辺地域は、まずは区が積極的に情報を提供するなどして区民とともに考え、みんなで勉強していく場にして行く」としています。

この会議は希望する人は参加できます。参加して意見を述べていきましょう。

訂正とお詫び

■表2. 陳情に対する各会派の賛否

- ①杉並区パートナーシップ制度へ事実婚カップルも適用を求める陳情
- ②杉並区議会が「日本政府に核兵器禁止条約への参加を求める意見書」を提出することを要請する陳情

会派・人数	自無	共産	立憲	公明	無都	維無	生ネ	れ耕	安心	参政	革新	セン	緑グ	杉わ	共生	無
①事実婚適用を求める陳情	10	6	6	6	4	4	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1
②核禁止条約参加を求める陳情	×	○	○	×	×	×	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○

【賛否】○/賛成、×/反対、退/退席。陳情①について「自無」は10名全員が退席した。「無維」は1名が議長のため、賛否は3名のみ表明。【会派の正式名称】表1を参照のこと。

表2. 陳情に対する各会派の賛否)において一部の会派の賛否に誤りがございました。深くお詫び申し上げますとともに、以下の通り訂正させていただきます。

・「①事実婚適用を求める陳情」の「革新」会派の賛否

【誤】×(反対)

【正】○(賛成)

今後、確認作業を改善し、再発防止に努めてまいります。

杉並区気候区民会議 開催

話し合おう「区民と

区政つなぐ

気候区民会議の目的は、「2050年ゼロカーボンシティ」の実現に向けて区民の参画による気候変動対策を推進し、一人ひとりが当事者意識をもって具体的な行動につなげていくことです。

杉並区では、これまで2回取り組まれ、16歳～70歳の区民77人が、課題や対策を学び、意見交換し区への提案をまとめました。(3月～8月)

気候市民会議は、日本では2020年から行われ、15番目となり、参加者は国内最大となりました。



気候危機の現状を

学ぼう

1回目は3月20日、2回目は4月20日で、学習が中心となりました。

「気候危機の現状と区民の役割」について専門家から講義があり、テーマ別に、エネルギー、循環型社会、みどり、交通の学習をしました。

参加者からは、「日々、意識して粘り強く取り組むことが大事だと思った。市民、行政、経済をつなぐ意見を出していきたい」「(30代の女性)「杉並区が行っている『落ち葉感謝祭』の取り組みはいいね」「グリーンインフラの雨庭は難しいが、プランタンでもいいと聞いたのでやってみる」などの意見が出されました。

3回目は、5月18日です。事前に申し込みをし、傍聴することもできます。



永福町駅の宣伝

健康の話 膝の痛みについて

もうすぐ5月です。気温の変化はありますが、過ごしやすい季節となりました。ツツジ、ハナミズキ、シヤクナゲが咲いてきました。

お散歩するには良い季節ですが、「膝が痛いので歩くことが苦手になった」と話している方が周りにいます。今週は、「膝の痛み」についてお話しします。

「膝の痛み」とは、膝の関節やその周囲が痛むことを指します。年齢や発症原因によりさまざまです。

- ① 老化で軟骨がすり減ることにより、日常生活の中で動作時に「ズキン」と痛むことが多くなります。(変形性膝関節症など)
- ② 関節炎などの炎症を伴う膝の痛み。動作時だけではなく安静時にも「ズキズキ」痛みます。
- ③ スポーツの怪我などで靭帯が損傷した場合。痛みと膝が外れるような不安定な感覚を伴います。
- ④ 子どもの場合は、成長の過程で生じる「成長痛」で、夕方から夜に膝全体の痛みが生じたりします。

いずれにしても、整形外科医の診察をお勧めします。変形性膝関節症の場合、痛みを柔らげるために、体操やストレッチをお勧めします。

椅子に座り左右に足を伸ばす運動やスクワットなどがいいと思います。大腿四頭筋を鍛えることが、「膝の痛み」を和らげることになります。

なお、個人差がありますので、主治医と相談しながら行ってください。

お困りのことがありましたら

酒井にご連絡ください。

